

## 城東学園学校再編地区説明会 中地区

日 時：令和6年9月14日（土）18:00～19:00

場 所：中地区コミュニティ防災センター

参加者：36名（うち児童・幼児3名）

事務局：5名



### 1 開会

○配布資料の確認

○中地区代表者あいさつ

今日は小中一貫校について、具体的にどこら辺まで、どのように進んでいるのか説明してくれる。実際学校ができていく過程の中で子供たちの教育内容はどうか。どのように通っていくのか。幼稚園、小学校がなくなってこの地域はどうなっていくのか？疑問に思うことを投げかけてもらいたい。

○主催者（教育政策課長）あいさつ

城東学園小中一貫校整備検討委員会は、第1回は7月9日に開催、第2回は9月24日開催予定である。小中一貫校整備に関してご意見をお伺いしたい。随時、情報発信していくため、市ホームページをご確認いただきたい。

### 2 説明

○市担当者説明

- ①学校再編、小中一貫校とは？
- ②城東学園周夫忠一貫校整備検討委員会
- ③小中一貫校の建設候補地
- ④公共施設の複合化
- ⑤開校までのスケジュールと進め方

### 3. 意見聴取

意見① 公共施設の複合化の事例紹介をいただいたが、立派な施設で良いが、事例では通学はどうしているのか。

掛川市 ご紹介した事例の沼津市では路線バスを利用して通学しているお子さん達もいる。

意見① 通学距離はどの程度なのか。

掛川市 沼津市の事例では2km以上が路線バスの対象になっていたと思われる。

掛川市では小学生は 4km 以上、中学生 6km 以上がスクールバスの対象となっている。城東中学校を中心とした地図では、中小学校のあたりが 3km の円に入っている。現行の基準である 4km を小学生が歩くのは困難であると考えており、緩和が必要だと思っている。来年度、原野谷中学校区で統合する小学校があるが、基準を 3km に縮める方向で調整している。

意見① 3km も無理ではないか。小学校の低学年のお子さんが夏に歩くのは無理ではないか。最近ではタブレットもあり荷物が重たい。

掛川市 小学生の低学年のお子さんが徒歩 1 時間で通える範囲としている。説明した基準が最終決定ではなく、検討を継続していきたい。

意見② 原野谷学園が先に進んでいくと思われるが、そちらで 3km だからと中地区でもと、市の基準が 3km で決まってしまうと、本当に実際に歩けるのか、40 度近い気温の中で小学校 1 年生 2 年生がこの距離を歩けるのか。市の職員が炎天下を歩いて確認した方がよい。構想ばかり進んでしまい、皆の意見が追いついていない。中幼稚園が無くなり、今度は中小学校が無くなる。今後、中地区の交流はどうなるのか、皆の意見を素直に聞いていただきたい。

意見③ 中地区で中学生は自転車でもいいが、小学生が経験のない道を通学するにも歩道がない。大雨の日の土砂崩れや不審者がいたずらするなどの心配がある。それらを考えた上で進めていただきたい。暑さもそうであるが、身の安全も大切であり、事故があってはいけない。

掛川市 道路整備は通学路として使用するため防犯灯、歩道など整備の優先度があがると考えている。学校の位置が決まって通学路が決まってくればその道路を優先して整備することも考えられる。担当課にも伝えておきたい。

意見③ 地区センターの統合の検討とあるが、自分も小さい地区を担当しているが、台風 10 号の時の例など、避難所が遠くなると行けない。近くになる人は良いが中地区は遠くなる。自分は地域で防災避難を検討してきた。施設をつくることには反対しないが、運営の仕方は検討してほしい。

意見④ 意見フォームがあるが、質問を載せたら市は回答までするのか。意見を採用する、採用しないなどは公開されるのか。意見だけ聞いたとするのか。いろんな地区から意見が出ると思うが、一覧として公開が必要ではないか。意見を無視されているのかどうか分からない。

掛川市 いただいたご意見は検討委員会において委員に公開する。検討委員会の資料も公開している。意見フォームを使っていただくと、返信の必要有無が聞かれるシステムになっているため、返信が必要な方には回答を送るように対応させていただく。

意見⑤ 学校統合や小中一貫には賛成していない一人である。バスで通えることは安全のためにも必要である。地域がまとまるのは良いが、中地区から幼稚園が無くなり、小学校が無くなり重大である。中地区では人数が少なくなっている。市の教育委員会の本気度はどうなのか。地域にとっては重大なことであり、本当に子ども達が良かった思える教育をやってもらいたい。どうゆう校舎を使うことにするのが良いか、いまの校舎がどうであるか。丘陵地の部分は、もっと造成して、広い敷地にして校舎を建てるなど、お金を掛けてもらいたい。

1 学年 30 人学級が 2 クラスではなく、1 学年 20 人の学級を 3 クラスつくってもらいたい。最近では学習塾に通う子どもが多いが、学習に追い付いて行けない子どももいる。学習塾が無くて良い学校になってほしい。いまある校舎を使うのではなく、活動内容にも沢山お金を掛けてほしい。

小学生のスクールバスの基準は 3km ではく 2km でも良いのではないかと。モデル校になる前例となるプランを立ててほしい。信頼してやってもらえるプランを出してほしい。

掛川市 教育の部分について、中・佐東・土方幼稚園・城東保育園の子どもたちが一緒になって 1 つのきょうこども園のなかで仲間づくりをしているが、現状では小学校に上がる時 3 つの小学校に分かれて、中学校でまた 1 つになる。小中一貫校になると繋がりができ、仲間との繋がりが途切れることなく続いていけるため教育上もよいと考えている。きょうこども園から小中学校まで子どもたちは学ぶことができる。35 人学級は国の基準でもあり、基準を超えてクラス数を増やそうとしても、現実的には教員不足ため対応することはできない。小中一貫校はこれらの課題解決のためでもある。市の財政が厳しい状況であるため、お金は検討しながら進めていきたい。

意見⑥ 会社では、長年一つのことばかりやっている人に違う仕事の情報が入るとパニックになることがある。子どもが同じ顔ぶれのまま中学校まで一緒に高校生になったときにバラバラになってしまうのは本当に良いのか。付いて行けない子どもは大変である。外を見て成長することが良いのではないかと。

掛川市 現状のままの場合は、単学級の状態が 6 年間固定化されることとなり、経験が少ないまま成長していくこととなる。単学級の場合は、必ずしも人間関係が良いとは限らず、その状態が続いていくこととなるが、3 つの小学校が一緒になれば、クラス替えで人間関係をリセットできるため複数学級があった方がよいと考えている。

意見⑥ 30 年、50 年後の学校はどうなっているのか。

掛川市 50 年後までは想定できない。随時、見直しをしていく。

意見⑥ 50 年後に、また新しい集団をつくるのか。

掛川市 30 年前に現在の状態を考えていたかとすれば、考えていなかったと思われる。その都度、環境や社会の変化で考えていく必要がある。

意見⑦ 具体的な話としてどこで何人ぐらいの子どもたちが通学緩和の対象となり、徒歩通学では何 km ぐらい歩くのか、はっきりした方がよい。中小地区では 2km ぐらいが限界ではないか。最初に何 km から歩くのか決めていただいた方がよい。

掛川市 国の基準では小学生は 4km、中学生は 6km が設定されている。原野谷中学校区は原田小では 3km に基準を緩和した。遠距離では保護者の方の心配は多いと思うが、こちらでもまた検討したい。結果についてはまた皆さんにお伝えしたい。一回基準を変えると掛川市全体の公平性が必要であり、なかなか基準を変えることに踏み込めない。

意見⑧ 通学距離の問題、通学方法など、どのような意見が出たのか教えていただきたい。

掛川市 出された意見は、後日公開する。

意見⑧ 通学の問題など意見を参考にしながら進めて行った方がよい。

掛川市 承知した。

意見⑧ 通学距離や通学路の問題について、中地区ではどのような方法で通学するか調べているの

か、市の皆さんは知らないと思う。今後進めて行く中、ひと回りして通学路の危険箇所などを調べてほしい。安全に通学できる方法がないと賛成できない。小中一貫校整備の前に、通学・道路のことをしっかり検討してほしい。学校を作ってから、こんな危険なところがあったということがないように。

掛川市 そういったことにならないための意見交換会や保護者との対話集会だととらえている。ご意見は持ち帰って検証していく。4kmを3kmに縮めたことも保護者のご意見を基にしている。小中一貫校整備と同時並行的に進めていきたい。すべての条件が決まってから学校づくりとは行かない面もあるため同時並行的に進めながら整えていきたい。

意見⑧ 通学距離の基準は何か。直線距離か？スクールバスの対象距離を縮めただけでは話にならないと思う。どのように計測しているのか。道路によっては条件が違うということも考えてほしい。

掛川市 直線距離ではなく、通学の道のりで距離を測っている。安全面から通学路として使用することが困難な道もあるため、皆さんと一緒に考えていきたい。市も最短距離でとは考えていない。

意見⑧ 市の職員と一緒に歩いてはどうなのか。一緒に歩いてもよい。

意見⑨ 市の職員と小学生1年とは歩く体力が違う。市の職員が歩いて3km歩けると思われても困る。1年生がランドセルを背負って暑い日も寒い日も3km歩くのは大変なこと。

意見⑩ 出された質問と回答をオープンにしてほしい。

意見⑪ こども園が出来て失敗したこと大変になったこと、送迎に時間が掛かるなど、問題点をお聞きしたい。子どもたちにとっては大勢の人数が集まり、広い場所で良いが、学校を統合することによって親の負担が増えるのではないか。

掛川市 こども園については担当課に確認する。駐車場が足りないことは聞いている。園の行事を分けて行わないといけない。広い駐車場については、沢山のご意見をいただいております、念頭に置きながら建設場所の選定をしなければいけないと考えている。

地区代表者 参加されているお母さん方からも是非意見を述べてほしい。

意見⑫ 心配は通学手段をどうするかである。開校年から自分の子どもは関係なくなるが、学校から遠い子どもは大変と聞く。駐車場が足りないことについて、小中一貫校になれば保護者も増えるため駐車場が確保できるのか。大学跡地も駐車場がないのではないか。心配で親の負担になるのではないか。バスがないと親が送迎しなければならなくなるが、道路が1本しかなく渋滞するのではないか。

意見⑬ 上の子は中小学校に通っている。下の子は2歳。子どもが少ない。今2歳の子が小学校2年の時からひとりで歩いて通うことになる。徒歩通学時間は1時間ではなく、夏や冬は30分が限界と思う。台風の際は直接送ることもあるが、現実的にそうなるのではないか。駐車スペースや見通しの悪い道など危なくないように検討に含めていただきたい。地区説明会のアンケートに記載があるが、複合したい公共施設は学童保育をやっていただきたい。市としては、まずは施設と土地を決めたいのではと思う。大変と思うがよろしくお願ひしたい。

掛川市 駐車場は確保しなくてはいけない。送迎も考えて一方通行、ロータリーなど考えていきたい。

4. 閉会

以上